

(参考資料 1-2) <財務担当理事用>

集計表

国立大学法人の
財務管理に関する
全国調査

2008年12月

国立大学財務・経営センター研究部

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査は、財務担当の理事の方を対象としたものです。理事の責任のもとにご回答ください。
2. 選択式の質問については、複数回答・単一回答の指示に注意してご回答ください。
3. 回答は、調査票に直接ご記入下さい。
4. ご記入の済みました調査票は、同封の返信用封筒をご使用の上、ご返送ください。
5. また、別途ご提供をお願いしております資料につきましては、同封の宅配伝票（着払）をご使用の上、お送りください。
6. 上記の調査票および資料につきましては、2009 年 2 月 2 日（月）までにお送りいただきたい、よろしくお願いを申し上げます。
7. 本調査に関する問合せ先は、下記の通りです。不明な点がございましたら、どうぞご遠慮なくお尋ねください。

国立大学財務・経営センター 研究部 教授 丸山文裕

電話：03-4212-6204 または 6200 FAX：03-4212-6250 E-メール：maruyama@zam.go.jp

以下附属病院に関する事項を除いて、お答えください。

1 資金の獲得

問1 競争的資金・外部資金等

- (1) 下記の **a～l** に示した競争的資金・外部資金等の中で、**現在** 貴大学が全学的にその獲得を重視しているもの **3つ** に○をつけてください。(n=86)

	現在	今後
a. 科学研究費補助金（文部科学省・日本学術振興会）	94.2	41.5
b. グローバル COE プログラム（卓越した教育研究拠点形成）	51.2	18.3
c. その他の文部科学省所管の競争的研究資金（科学技術振興調整費など）	20.9	3.7
d. 各種 GP プログラム	45.3	1.2
e. 特別教育研究経費（運営費交付金）	59.3	18.3
f. 他省庁科研費（厚生労働省等）	3.5	0.0
g. 共同研究	9.3	3.7
h. 受託研究	2.3	1.2
i. 受託事業	2.3	0.0
j. 寄附金	10.5	12.2
k. その他（ ）	1.2	0.0
l. 特に重視しているものはない	0.0	0.0

- (2) 上記 **a～l** のうち、貴大学が経営戦略上、**今後** 特に重視したいと思うものを **1つ** 選び、下の欄内に記号を記入してください。(n=82)

(1)を参照

問2 競争的資金・外部資金等の獲得に向けた取組

- (1) 競争的資金・外部資金等の獲得に向けて、現在、全学レベルで特別な取組をしていますか（例：獲得に向けた学内組織の設置、申請書等の作成支援機会の提供、申請実績にもとづく学内予算の傾斜配分など）。

	している	していない	
a. 科学研究費補助金（文部科学省・日本学術振興会）	100.0	0.0	(n=85)
b. グローバル COE プログラム（卓越した教育研究拠点形成）	71.4	28.6	(n=84)
c. その他の文部科学省所管の競争的研究資金	83.1	16.9	(n=83)
d. 各種 GP プログラム	89.3	10.7	(n=84)
e. 特別教育研究経費（運営費交付金）	86.7	13.3	(n=83)
f. 他省庁科研費（厚生労働省等）	36.3	63.8	(n=80)
g. 共同研究	75.0	25.0	(n=80)
h. 受託研究	68.8	31.3	(n=80)
i. 受託事業	45.0	55.0	(n=80)
j. 寄附金	71.6	28.4	(n=81)
k. 知財関連収入	67.9	32.1	(n=81)

2 資金の配分

問3 予算編成

- (1) 貴大学では、**現在**学内予算の編成にあたってどのような方針をとっていますか。(n=86)
1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 62.8
 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 36.0
 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 1.2
- (2) 貴大学では、**今後**学内予算の編成にあたってどのような方針をとりたいと考えていますか。(n=85)
1. 基本的に前年度経費の額をベースに決定する 20.0
 2. 前年度経費の一部についてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 70.6
 3. 前年度経費のすべてについてゼロベースで見直し、経費の額を決定する 9.4
- (3) 貴大学では、学内の予算編成にあたって各部局等に予算要求案の提出を求めていますか。(n=84)
1. 予算要求案の提出を求めている 27.4
 2. 一部の経費について予算要求案の提出を求めている 64.3
 3. 予算要求案の提出は求めている 8.3
- (4) **現在**の学内予算編成に、下記の役職・組織はどの程度関与していますか。a～kそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

大きく関与 ある程度関与 あまり関与 ほとんど関与 関与して
している している していない していない いない

a. 学長	91.9	8.1	0.0	0.0	0.0
b. 理事	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0
c. 役員会	79.1	18.6	2.3	0.0	0.0
d. 経営協議会	59.3	34.9	3.5	1.2	1.2
e. 大学が独自に設置した組織 (役員懇談会、運営会議等)	37.2	26.7	17.4	15.1	3.5
f. 教育研究評議会	12.8	31.4	36.0	18.6	1.2
g. 部局長会議	8.1	24.4	19.8	20.9	26.7
h. 部局教授会	8.1	17.4	27.9	39.5	7.0
i. 全学委員会(予算委員会・財務委員会など)	39.5	14.0	10.5	15.1	20.9
j. 学長補佐	8.1	18.6	19.8	34.9	18.6
k. 事務局長	64.0	12.8	3.5	3.5	16.3

- (5) 上記 a～k のうち、最終的な予算の決定に大きな影響力を与えていると思う役職・組織を、その影響力の大きさの順に**3つ**選び、下の欄内に記号を記入してください。

1 番目(n=86) (最も大きい影響力)	2 番目(n=86)	3 番目(n=85)
a 75.6 b 3.5 c 16.3 d 3.5 i 1.2	a 14.0 b 34.9 c 33.7 d 7.0 e 2.3 i 5.8 k 2.3	a 2.4 b 22.4 c 17.6 d 25.9 e 9.4 g 3.5 i 14.1 k 4.7

- (6) 貴大学の学内予算編成の実態は、下記のうちどのタイプに最も近いですか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=86)

学長・役員等による トップダウン	どちらかというと 学長・役員等による トップダウン	どちらとも 言えない	どちらかというと 部局等からの ボトムアップ	部局等からの ボトムアップ
12.8	57.0	24.4	4.7	1.2

- (7) 貴大学では、予算配分にあたって、**現在**または**今後**、下記の経費（**外部資金を除く運営費交付金対象分**）のいずれをより重視していますか。効率化係数への対応にあたり、どちらの経費を優先的に確保するかという視点でお答えください。

現在					今後						
A	Aを より重視	どちらとも いえない	Bを より重視	B	A	Aを より重視	どちらとも いえない	Bを より重視	B		
本部経費	24.4	---	58.5	---	17.1	本部経費	24.7	---	63.0	---	12.3
人件費	51.2	---	45.3	---	3.5	人件費	45.9	---	50.6	---	3.5
教員人件費	27.9	---	72.1	---	0.0	教員人件費	31.8	---	68.2	---	0.0
管理的経費	5.8	---	23.3	---	70.9	管理的経費	6.0	---	19.0	---	75.0
教育経費	44.7	---	54.1	---	1.2	教育経費	55.3	---	44.7	---	0.0

- (8) 貴大学では、中期目標・計画の達成と関連づけた予算編成ができていますか。

できている と思う	ある程度できている と思う	どちらとも 言えない	あまりできていない と思われる	できている (n=86)
30.2	65.1	4.7	0.0	0.0

問4 本部・部局間資金配分

- (1) 貴大学では、部局に配分した資金について、費目別の用途を指定していますか。(n=79)

1. 用途指定していない 30.4 2. 一部用途指定している 62.0 3. すべて用途指定している 7.6

- (2) 貴大学では、本部経費（重点的・競争的配分経費など、全学的に必要な経費として本部で管理している経費を含む）と部局経費（部局ごとに必要とし、部局で管理している経費）の配分（額の決定）にあたって、下記のいずれにより近い考え方をとっていますか。効率化係数への対応にあたり、どちらの経費を優先的に確保するかという視点でお答えください。

(n=78)	Aを A	どちらとも より重視	Bを 言えない	より重視	B
	本部の必要経費 を優先的に確保	32.1	55.1	12.8	部局の必要経費 を優先的に確保

- (3) 貴大学では、部局への教育・研究に関わる資金配分に際して、旧来の教官当・学生当の積算単価（基盤校費導入以前のもの）を利用していますか。(n=77)

1. 利用している 11.7 2. 修正して利用している 42.9 3. 利用していない 45.5

- (4) 貴大学では、部局において当初配分予算に執行残が生じた場合、下記のいずれに近い取り扱いをしていますか。(n=79)

1. 残額の全額を翌年度の部局経費に上乗せ配分する	39.2
2. 残額の一部を翌年度の部局経費に上乗せ配分する	25.3
3. 残額は本部経費とし、部局経費に上乗せ配分しない	35.4

- (5) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局が過年度に**申請**した競争的資金等（科学研究費補助金など）の件数・金額を関連づけていますか。(n=79)

1. 関連づけている 41.8 2. 今後関連づける予定 16.5 3. 関連づける予定はない 41.8

- (6) 貴大学では、各部局に配分する経費の額と、各部局が**獲得**した競争的資金・外部資金等（科学研究費補助金や受託・共同研究など）の額を関連づけていますか。(n=79)

1. 関連づけている 39.2 2. 今後関連づける予定 21.5 3. 関連づける予定はない 39.2

問5 予算の配分額

(1) 貴大学では、平成 20 年度と法人化後 2 年目（平成 17 年度）を比較して、下記の各経費の予算額は概ねどのように変化しましたか。a～l それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	大きく 増加	やや 増加	どちらとも いえない	やや 減少	大きく 減少
a. 全学共通経費	3.6	32.5	26.5	32.5	4.8 (n=83)
b. 学長等による裁量的経費	23.8	40.5	21.4	9.5	4.8 (n=84)
c. 全学的な重点・戦略的配分経費	25.0	47.6	20.2	4.8	2.4 (n=84)
d. 全学的な施設整備費	28.2	27.1	32.9	10.6	1.2 (n=85)
e. 全学的な施設の維持・保全費	9.4	32.9	31.8	23.5	2.4 (n=85)
f. 部局共通経費	0.0	5.6	56.9	33.3	4.2 (n=72)
g. 部局長等による裁量的経費	8.6	14.3	54.3	21.4	1.4 (n=70)
h. 部局における重点・戦略的配分経費	8.7	18.8	62.3	10.1	0.0 (n=69)
i. 部局における施設整備費	0.0	8.8	66.2	23.5	1.5 (n=68)
j. 部局における施設の維持・保全費	0.0	8.7	59.4	31.9	0.0 (n=69)
k. 各教員の基盤的な教育費	2.4	9.4	40.0	48.2	0.0 (n=85)
l. 各教員の基盤的な研究費	0.0	7.1	30.6	54.1	8.2 (n=85)

(2) 平成 20 年度の下記の各経費の予算額について、どのようにお考えですか。a～l それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	十分	まあ 十分	どちらとも いえない	やや 不十分	不十分
a. 全学共通経費	2.4	15.9	24.4	42.7	14.6 (n=82)
b. 学長等による裁量的経費	4.8	28.6	21.4	31.0	14.3 (n=84)
c. 全学的な重点・戦略的配分経費	1.2	30.6	21.2	29.4	17.6 (n=85)
d. 全学的な施設整備費	0.0	11.8	18.8	32.9	36.5 (n=85)
e. 全学的な施設の維持・保全費	0.0	4.7	17.6	42.4	35.3 (n=85)
f. 部局共通経費	0.0	2.8	48.6	38.9	9.7 (n=72)
g. 部局長等による裁量的経費	0.0	10.0	44.3	35.7	10.0 (n=70)
h. 部局における重点・戦略的配分経費 ..	0.0	5.8	47.8	31.9	14.5 (n=69)
i. 部局における施設整備費	0.0	0.0	36.8	33.8	29.4 (n=68)
j. 部局における施設の維持・保全費	0.0	1.4	31.9	37.7	29.0 (n=69)
k. 各教員の基盤的な教育費	1.2	5.9	31.8	30.6	30.6 (n=85)
l. 各教員の基盤的な研究費	1.2	7.1	28.2	28.2	35.3 (n=85)

(3) 上記 a～l のうち、配分額が最も不十分だったと思われる経費を 1 つ選び、下の欄内に記号を記入してください。(n=76)

a.	5.3	g	0.0
b.	7.9	h	0.0
c.	9.2	i	5.3
d.	26.3	j	3.9
e.	11.8	k	14.5
f.	0.0	l	15.8

3 費用の節減

問6 人件費の節減

(1) 貴大学では、国の総人件費改革に関連して、どのような人件費節減方策をお持ちですか。

a～l それぞれについて、あてはまる番号**すべてに○**をつけてください。該当 該当なし

a. 承継教職員枠に対する退職者の補充繰り延べ、または不補充	90.7	9.3 (n=86)
b. 手当類の見直し（具体的に：_____）	20.9	79.1 (n=86)
c. 昇給表の見直し	9.3	90.7 (n=86)
d. 学長裁量の教職員枠の設定と管理	47.7	52.3 (n=86)
e. 任期制教職員枠の拡大	38.4	61.6 (n=86)
f. 常勤教員から非常勤教員への転換	17.4	82.6 (n=86)
g. 常勤職員から非常勤職員への転換	32.6	67.4 (n=86)
h. 非常勤教員の削減	24.4	75.6 (n=86)
i. 非常勤職員の削減	16.3	83.7 (n=86)
j. 外部委託の推進	50.0	50.0 (n=86)
k. 退職者再雇用の推進	58.1	41.9 (n=86)
l. その他（具体的に：_____）	14.0	86.0 (n=86)

(2) 貴大学では、その人件費の管理に関連して、長期的な予測や推計に基づく対応策を立てていますか。(n=83)

1. すでに立てている 51.8 2. 現在検討している 36.1 3. 検討していない 12.0



(3) **1** もしくは **2** と回答した大学にうかがいます。具体的にその内容をお答えください。

問7 物件費等の経費の節減

(1) 貴大学では、下記の経費について全学的な節減のための方策をお持ちですか。 **a～d** それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

もっている もっていない

a. 旅費	51.2	----	48.8	----	(n=84)
b. 光熱水費	90.7	-----	9.3	-----	(n=86)
c. 物品購入費	82.4	----	17.6	----	(n=85)
d. その他（具体的に：_____）					

4 目的積立金の活用

問8 目的積立金制度

(1) 目的積立金制度は、剰余金が発生した場合に積立て、中期計画の遂行のため、それを年度を越えて使用できるように設計されています。この制度目的の利点を感じておられますか。(n=85)

利点を 感じている	ある程度 感じている	あまり 感じていない	利点を 感じない
75.3 -----	22.4 -----	2.4 -----	0.0

- (2) 上記(1)で**3**または**4**とご回答いただいた方にお尋ねします。制度的な利点を感じない理由をお答えください。

--

- (3) 平成 19 年度末の目的積立金残高について、平成 20 年度と平成 21 年度の 2 年間で全額使用する予定ですか。(n=82)

1. はい 97.6 2. いいえ 2.4 3. 検討中 0.0

5 学生納付金

問9 収入の水準と確保

- (1) 学生納付金についてうかがいます。その収納確保をはかるために、全学レベルで特別な取組をしていますか。**a**と**b**それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

している していない

- a. 授業料・入学金収入 45.2 ----- -54.8 (n=84)
b. 受験料収入 48.8 ----- -51.2 (n=84)

- (2) 上記(1)で**a**と**b**それぞれについて、**1**と回答した大学にうかがいます。その特別な取組とはどのようなものですか（退学・休学・未納を防ぐ全学的な方策等も含めてください）。

- a. 授業料・入学金収入について
()
b. 受験料収入について
()

- (3) 授業料水準の今後の予定をお聞かせください。

値下げ 据え置き 値上げ 未定

- a. 学部 0.0 ----- 59.3 ----- 0.0 ----- 40.7 (n=81)
b. 大学院 0.0 ----- 59.5 ----- 0.0 ----- 40.5 (n=84)

- (4) 上記(3)の回答の理由をお聞かせください。

学部	
大学院	

- (5) 授業料水準を決定するに当たって、以下の項目をどの程度重視しますか

重視する 重視しない どちらとも
いえない

- a. 機会均等の実現など国立大学の使命 90.2 ----- 0.0 ----- 9.8 (n=82)
b. 地元学生の優遇など地域貢献 31.7 ----- 24.4 ----- 43.9 (n=82)
c. 優秀な学生、留学生確保など競争力強化 74.4 ----- 3.7 ----- 22.0 (n=82)
d. 収入の確保 59.8 ----- 4.9 ----- 35.4 (n=82)
e. 質の高い教育の提供 72.0 ----- 1.2 ----- 26.8 (n=82)
f. 運営費交付金削減への対応 46.3 ----- 11.0 ----- 42.7 (n=82)
g. 学生支援サービスの向上 65.4 ----- 2.5 ----- 32.1 (n=81)
h. その他、重視する点があれば記述してください ()

問10 授業料減免・大学独自奨学金

(1) 貴大学では、**法人化2年目（平成17年度）以降**、授業料減免に関する方針を変更しましたか。(n=84)

1. 変更した 38.1 2. 今後変更を予定している 7.1 3. 変更していない 54.8

(2) 上記(1)で**1**または**2**とお答えいただいた大学にうかがいます。方針をどのように変更されたか（または、変更する予定か）について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 学部について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

a. 減免の基準 5.4----- 40.5----- 54.1 (n=37)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

b. 減免の総額 37.8----- 62.2----- 0.0 (n=37)

c. 一人当たり減免額 0.0----- 81.1----- 18.9 (n=37)

d. 減免の人数 62.2----- 37.8----- 0.0 (n=37)

2. 大学院について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

a. 減免の基準 7.5----- 45.0----- 47.5 (n=40)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

b. 減免の総額 42.1----- 57.9----- 0.0 (n=38)

c. 一人当たり減免額 5.3----- 76.3----- 18.4 (n=38)

d. 減免の人数 68.4----- 31.6----- 0.0 (n=38)

(3) 貴大学には、大学または学部・大学院による独自の奨学金制度（同窓会の奨学金制度も含む）がありますか。(n=86)

1. ある 74.4 2. 今後設置の予定 5.8 3. ない 19.8

(4) 上記(3)で**1**または**2**とお答えいただいた大学にうかがいます。授業料減免または奨学金制度の**今後**の方針について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 学部について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

e. 給付の基準 23.8----- 23.8----- 52.4 (n=63)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

f. 給付の総額 31.7----- 68.3----- 0.0 (n=63)

g. 一人当たり給付額 12.7----- 84.1----- 3.2 (n=63)

h. 給付の人数 36.5----- 63.5----- 0.0 (n=63)

2. 大学院について

学力重視 経済状況重視 同程度に重視

i. 給付の基準 40.0----- 16.9----- 43.1 (n=65)

増やす方針 従来どおり 減らす方針

j. 給付の総額 39.4----- 59.1----- 1.5 (n=66)

k. 一人当たり給付額 21.2----- 78.8----- 0.0 (n=66)

l. 給付の人数 39.4----- 59.1----- 1.5 (n=66)

(5) 貴大学の授業料減免制度または独自奨学金制度の財源は何ですか。また、配分方法をお聞かせください。

--

問11 授業料についてのご意見

(1) 現在、国立大学の授業料は、文部科学省が標準額を設定し、120%の範囲で各大学が独自額を決定できます。この制度についてご意見をおうかがいします。

- a. 文部科学省が標準額を設定すること自体について、あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
1. 賛成 91.6 2. 反対 3.6
3. その他ご意見 () 4.8
- b. 120%の範囲について、あてはまる番号に○をつけてください。(n=81)
1. 自由度が小さすぎる 21.0 2. 自由度が大きすぎる 14.8
3. その他ご意見 () 64.2
- c. 標準額の水準について、あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
1. 高すぎる 25.3 2. 低すぎる 4.8 3. 適正 67.5
4. その他ご意見 () 2.4
- d. 私立大学と比較して、現在の授業料の水準についてどのように考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
1. 高すぎる 16.9 2. 低すぎる 4.8 3. 適正 67.5
4. その他ご意見 () 10.8
- e. 提供している教育サービスの水準と比較して、現在の授業料の水準についてどのように考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)
1. 高すぎる 3.6 2. 低すぎる 12.0 3. 適正 71.1
4. その他ご意見 () 13.3
- f. その他、貴大学および学部・大学院で学生の経済的支援策（提携銀行ローンなど）があればお聞かせください。

--

6 国からの財源措置

問12 基盤的資金と競争的資金

(1) 貴大学では、**今後の**国からの財源措置について、どのような方向性を希望していますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(n=83)

1. 競争的資金よりも、基盤的資金を拡充すべきである 89.2
2. 基盤的資金よりも、競争的資金を拡充すべきである 7.2
3. 基盤的資金および競争的資金とも、現状のままでよい 3.6

7 自由回答とプロフィール

問13 自由回答

その他、第一期中期計画期間の終了を迎えるにあたり、法人化について感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください。

問14 理事ご自身のプロフィール

最後に、理事ご自身のことについて、いくつかおうかがいいたします。

- a. 年齢（ ）歳
- b. 現職に就いたのは、平成（ ）年（ ）月から
- c. 理事就任までのご職歴

次ページ以降の質問は、それぞれを担当している職員の方に回答をお願いします。

8 職員の方にお答えいただく質問

以下の質問は、それぞれを担当している職員の方へ回答をお願いします。

問15 科学研究費補助金の申請・採択件数

問1（科学研究費補助金）に関連して、下記の**平成20年度**の科研費申請件数・採択件数を、文部科学省（日本学術振興会分含む）・他省庁に分けてそれぞれお答えください。なお、日本学術振興会の特別研究員制度については、対象から除きます。

	申請件数	採択件数
平成20年度新規分 （平成19年中に申請）	文部科学省 件	文部科学省 件
		他省庁 件

問16 COE・GPの申請・採択件数

問1（21世紀またはグローバルCOE・GP）の獲得に関連して、**平成20年度採択決定分までの申請件数及び採択件数（のべ件数）**をお答えください。

	申請件数（のべ件数）	採択件数（のべ件数）
COE	件	件
GP	件	件

問17 特別教育研究経費の申請・採択件数

問1（特別教育研究経費）に関連して、**平成20年度（19年度作業分）**の要求・採択件数および金額をお答えください。

	申請件数・金額	採択件数・金額
平成20年度 （平成19年度作業分）	新規要求 件	新規要求 件
	円	円

問18 競争的資金・外部資金等の獲得に向けた全学レベルの取組

問2（競争的資金・外部資金等の獲得に向けた取組）において、全学レベルの取組を「**1. している**」と回答した大学にうかがいます。その取組内容についてお答えください。

競争的資金・外部資金等	取組内容
科学研究費補助金	
グローバルCOE	
その他の文部科学省所管の競争的研究資金	
各種GPプログラム	
特別教育研究経費（運営費交付金）	

競争的資金・外部資金等	取組内容
他省庁科研費 (厚生労働省等)	
共同研究	
受託研究	
受託事業	
寄附金	
知財関連収入	

問19 大学が独自に設置した組織

問3の(4) (学内予算編成への役職・組織の関与)において、「e. 大学が独自に設置した組織」を「1. 大いに関与している」または「2. ある程度関与している」と回答した大学にうかがいます。平成19年度における当該組織の名称、構成員数、開催回数、構成員の役職名についてお答えください。

	組織名称	構成員数	開催回数	構成員の役職名
(1)		名	回	
(2)		名	回	
(3)		名	回	
(4)		名	回	
(5)		名	回	

問20 本部・部局間予算配分

(1) 問 4（本部・部局間資金配分）に関連して、**法人化後 2 年目（平成 17 年度）と平成 20 年度の**当初予算の金額の内訳を下の表に記入してください。

予算項目	平成 17 年度	平成 20 年度
1. 本部経費（人件費）	千円	千円
2. 本部経費（人件費以外）	千円	千円
3. 本部経費（退職手当・特殊要因）	千円	千円
4. 部局配分教育・研究経費	千円	千円
5. 部局配分管理経費	千円	千円
6. 重点的・戦略的配分経費（学長等裁量経費を含む）	千円	千円
7. その他		
合計	千円	千円

注 1. 各予算項目の定義

1. 本部経費（人件費）：本部で集中的に管理している人件費。3. に含まれる退職手当を除く。
2. 本部経費（人件費以外）：本部で集中的に管理している人件費以外の事務的な経費（主に「一般管理費」などの科目で管理されている経費）。光熱水費などで、部局の負担となっているものは除く。
3. 本部経費（退職手当・特殊要因）：運営費交付金における「退職手当」と「特殊要因」に見合う金額。
4. 部局配分教育・研究経費：部局に対して、教員の教育経費や研究経費を賄うために配分された金額。
5. 部局配分管理経費：事務的な経費、光熱水費やその他分担経費などについて、部局に配分された金額。
6. 重点的・戦略的配分経費：全学的な目的達成のために確保され、本部で使用するか、もしくは学内での競争的配分などを通じて、必要に応じて部局や教員に配分された金額。学長等の裁量経費を含む。
7. その他：上記 1～6 に該当せず、また下記の費目にも当たらないもの。

注 2. 次の項目は金額に含めないでください：病院関係経費、施設整備費、競争的資金・外部資金の直接経費分（間接経費見込額にもとづく本部経費や部局管理経費などは含めてください）。

(2) 上記(1)で「**5. 部局配分管理経費**」に金額を記入した大学にうかがいます。記入した金額のうち、本部への内部振替で戻される金額は、いくらですか（例. 部門使用分の光熱水費、電子ジャーナル利用料など）。

千円

(3) 上記(1)で「**6. 重点的・戦略的配分経費（学長等裁量経費を含む）**」に金額を記入した大学にうかがいます。配分対象となった全学的な目的（例. 教育目的の内部競争資金、研究目的の内部競争資金、国際化、施設・設備の充実、学生支援など）について、具体的な項目を記入してください。

重点的・戦略的経費	学長等裁量経費

- (4) 問 4 (本部・部局間資金配分) の(5)で、各部局に配分する経費の額と、各部局が過年度に**申請**した競争的資金等の件数・金額を「**1. 関連づけている**」と回答した大学にうかがいます。具体的には、どのような形で関連づけていますか。

- (5) 問 4 (本部・部局間資金配分) の(6)で、各部局に配分する経費の額と、各部局が過年度に**獲得**した競争的資金・外部資金等の額を「**1. 関連づけている**」と回答した大学にうかがいます。具体的には、どのような形で関連づけていますか。

- (6) 問 4 (本部・部局間資金配分) に関連して、以下の資料を、別途、お送りください。

1. 平成 19・20 年度予算編成方針および当初予算 (部局別収入・支出予算額内訳含む)
2. 平成 19 年度収入・支出決算 (部局別収入・支出決算額内訳含む)
3. 平成 20 年度予算編成で使った、本部・部局間の予算配分ルールを説明した資料

問21 予算の配分額

問 5 (予算の配分額) に関連して、貴大学の**平成 20 年度**における下記の経費は、**法人化後 2 年目 (平成 17 年度) と比較して**どう変化しましたか。 **a～e**それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

a.学長裁量経費(n=86) (学長個人の裁量により配分可能な経費)	1. 増加した 59.3	2. 変化なし 20.9	3. 減少した 18.6	4. 該当なし 1.2
b.部局長裁量経費(n=83) (部局長個人の裁量により配分可能な経費)	1. 増加した 28.9	2. 変化なし 21.7	3. 減少した 15.7	4. 該当なし 33.7
c.戦略的配分経費(n=86) (役員会等の合議を経て戦略的に配分する経費)	1. 増加した 62.8	2. 変化なし 15.1	3. 減少した 7.0	4. 該当なし 15.1
d.学内公募経費(n=86) (学内公募おこなったうえで、配分する経費)	1. 増加した 54.7	2. 変化なし 18.6	3. 減少した 15.1	4. 該当なし 11.6
e.傾斜配分経費(n=86) (一定の算定ルールの下で傾斜配分する経費)	1. 増加した 27.9	2. 変化なし 11.6	3. 減少した 19.8	4. 該当なし 40.7

問22 費用の節減額

(1) 問 7（物件費等の経費の節減）に関連して、お聞きします。「1. 全学的な方策をもっている」とお答えいただいた取組内容について、ご回答ください。

費用項目	取組内容
旅費	
光熱費	
物品購入費	
その他	

(2) 問 6（人件費の削減）と問 7（物件費等の経費の節減）に関連して、お聞きします。お答えいただいた節減策により節減された金額を、節減策ごとに、お分かりになる範囲でご回答ください。

人件費		物件費等	
節減策	金額	節減策	金額
	千円		千円

問23 目的積立金の使途

(1) 問 8（目的積立金制度）の(3)で、平成 19 年度末の目的積立金残高を平成 20 年度と平成 21 年度で全額使用する予定（「1. はい」）とお答えいただいた大学にうかがいます。その使途について、以下にご回答ください。

平成 20 年度の目的積立金の使途	平成 21 年度の目的積立金の使途

問24 学生納付金

(1) 問 10（授業料減免・大学独自奨学金）に関連して、以下の資料を、別途、お送りください。

- 貴大学および同窓会組織等の提供している授業料減免制度および独自奨学金制度の規定・概要を説明した資料

問25 間接経費とオーバーヘッド

間接経費・オーバーヘッドの対象経費、経費率、金額、配分比率をお答えください。

		対象経費		経費率	金額	配分比率	
間 接 経 費	平成 20 年度	競争 的 資 金	科学研究費補助金 (文部科学省／日本学 術振興会)	%	円	本部 部局 獲得者	% % %
			文部科学省が所管する 他の競争的資金	%	円	本部 部局 獲得者	% % %
			他省庁が所管する 競争的資金	%	円	本部 部局 獲得者	% % %
		民間等との共同研究 ・受託研究		%	円	本部 部局 獲得者	% % %
オ ー バ ー ヘ ッ ド	平成 20 年度	寄附金		%	円	本部 部局	% %
		科学研究費補助金(直接経費 相当分からの「オーバーヘッ ド」)		%	円	本部 部局	% %
		民間等との共同研究 ・受託研究		%	円	本部 部局	% %
		その他 ()		%	円	本部 部局	% %

注.「間接経費」は、当初から「直接経費」と「間接経費」に区分されているもの、「オーバーヘッド」は「直接経費」を収入したのち、その一定割合を本部等の管理経費として再配分するもの。なお、科学研究費補助金の「オーバーヘッド」については、同補助金の直接経費相当分の一定割合を、内部的に配分される基盤的な教育・研究経費額から控除する場合に記入のこと。

問26 運営費交付金

貴大学における下記の経費の額についてお答えください。

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
標準運営費交付金	千円	千円	千円
特定運営費交付金	千円	千円	千円
うち 教育研究診療経費	千円	千円	千円
うち特殊要因経費	千円	千円	千円
うち 退職手当分	千円	千円	千円
附属病院運営費交付金	千円	千円	千円
効率化額	千円	千円	千円
標準運営費交付金 対象事業収入	千円	千円	千円
特定運営費交付金 対象事業収入	千円	千円	千円
病院運営費交付金 対象事業収入	千円	千円	千円
経営改善係数額	千円	千円	千円

質問は以上です。回答にご協力いただき、ありがとうございました。